

長野県訪問看護ステーション連絡協議会だより

2024年12月発行 広報担当 奥村・吉田

訪問看護サミット2024（日本訪問看護財団設立30周年記念）

当協議会より、高橋光子会長と伊藤みほ子顧問の2名が、訪問看護の推進に尽力された方として、表彰されました。

表彰を受けてのお言葉を2人からいただきました。



このたびは、日本訪問看護財団設立30周年記念事業にご推薦いただきありがとうございました。

私は、2000年から訪問看護を始めました。病棟勤務時代はずっと急性期に関わりたいてと考えていました。一方で、私には訪問看護が絶対合っているからやってみないかとの看護部長の勧めを断り続けていました。体調を崩して入院した際、再度訪問看護を勧められました。こんなに勧められる訪問看護ってどんなものだろう。これも何かのご縁かと考え直したのが始まりでした。こんな主体性のない動機で始めた訪問看護ですが、今では、看護の真髄はここにあると思っています。

人対人として利用者と向き合い、その人を知って、信頼関係を築きながら関わることが何よりの喜びです。

至らないところだらけの私に、今までご指導、並走頂いた多くの方々、関わらせて頂いたご利用者・ご家族様に心から感謝申し上げます。私は皆様から頂いたものを糧に、これからも訪問看護に携わり続けたいと思います。

訪問看護認定看護師

長野県訪問看護ステーション連絡協議会会長 高橋 光子

このたびは、日本訪問看護財団設立30周年記念事業としての「訪問看護サミット2024」において、長野県訪問看護ステーション連絡協議会からの推薦をいただき、訪問看護の推進に携わったことで表彰していただきました。

訪問看護サミットの会場では、多くの方に声をかけていただき、恐縮いたしましたのとともに感謝の気持ちでいっぱいになりました。

振り返ってみますと、2007年に日本訪問看護財団の訪問看護認定教育課程で学び訪問看護認定看護師となってからは、自施設の訪問看護のこのみならず、幅広く訪問看護に関することに力を注いでこられたと思います。

それは、長野県訪問看護ステーション連絡協議会の皆様と一緒に、取り組んでこられたからだだと思います。

これからも、訪問看護の推進に尽力してまいります。

訪問看護認定看護師 長野県訪問看護ステーション連絡協議会顧問 伊藤 みほ子

表彰おめでとうございます

このたびのご表彰、誠におめでとうございます。これまでのご尽力の成果と思います。今後も私たちにご指導を賜りますよう、よろしくお願いいたします。寒さ、厳しくなってきました。雪景色はきれいですが、道路状況が心配です。待ってくださる利用者様へも心配をお掛けしないよう、安全運転を心掛けたいですね。今年もお世話になりました。来年もよろしくお願いいたします。

訪問看護ステーションみどり 吉田

